

仙台第三高等学校

校訓 心身の健康 真・善・美の追求 愛と知の稔り



1 基本データ

創立：昭和38年
課程・学科：全日制課程・普通科，理数科
生徒数：953名
所在地：〒983-0824
仙台市宮城野区鶴ヶ谷 1-19
TEL：022-251-1246
FAX：022-251-1247

ホームページアドレス：
<http://sensas.myswan.ed.jp>
電子メールアドレス：
sensas@od.myswan.ed.jp
主な交通機関
仙台市営バス：鶴ヶ谷七丁目ゆき 鶴ヶ谷三丁目三高下車 徒歩1分
東北本線：東仙台駅下車 徒歩20分

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

TEAM 仙台三高

仙台三高は、1つのチームとして互いに励まし合い頑張る集団です。

三高旋風を巻き起こせ！！

仙台三高生は、常に声をかけあって高いレベルを目指します。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

昭和38年に全日制普通科男子校として開校し、昭和43年には県内初の理数科が設置され、さらに平成21年に男女共学となりました。文部科学省より、平成22年度にSSH指定校に指定され、先進的な授業の研究と実践に取り組み、全校体制で探究活動に取り組んでおります。令和4年度からは第3期のSSH指定を受け、周辺地域を対象にした探究活動を進めております。

施設は、400人収容可能の大講義室・学習室・生徒ラウンジ・職員室前の学習指導コーナー・多目的教室・選択教室等を備えた校舎の他、体育館、武道館、弓道場、フェンシング場、卓球場、部室棟、硬式野球場、テニスコート、サッカー場、400mトラック、ハンドボールコート、ラグビー場(第2グラウンド)があり、充実した教育環境を備えています。

(2) 教育方針

建学の精神である「心身の健康」、「真・善・美の追求」、「愛と知の稔り」に則り、次の教育目標を立てています。

- ①仙台三高は、多様な人々と協働する寛容な心を持ち、社会の変化にしなやかに対応する、逞しく豊かな人間性を育みます。
- ②仙台三高は、人類が積み上げた英知に学び、真理の追求を通して知性と感性を磨き、事象を深く探究する態度を養います。
- ③仙台三高は、博愛の精神と創造する知を育む人づくりを通して、よりよき未来の創出に貢献します。

また、「仙台三高の教育活動で身に付ける6個の力」の育成を目指します。
1自己管理力 心身の健康を維持するために、健全な生活習慣を身に付け、様々な壁を柔軟に乗り越えるしなやかさを持つ。
2信頼構築力 相手の立場を思いやり、尊重し、互いに信頼関係を築くことができる。

3自己研鑽力 人類が築き上げてきた真理を重んじ、それを教養として身に付けることを通して、自らの資質・能力を高めようとする。

4課題突破力 困難な課題に立ち向かい、解決するために、個人の資質を高め、チーム一丸となる実行力を持つ。

5未来デザイン力 未知なるものに立ち向かうために、自己の可能性や周囲の可能性を信じ、能動的に知性を高め行動していく。

6社会牽引力 他者理解・思考力など総合的な判断力をもって、集団を牽引し、社会貢献し、共生して生きていく。

(3) 教育課程の特色

大学へ進学するための十分な基礎学力と応用力を育成します。

普通科は2年生から進路希望に応じて文系と理系の2つの類型に分かれます。文系クラスは国語・地歴公民・英語に、理系クラスは数学・理科・英語に重点を置いて学習をします。令和4年度入学生からはイノベーション探究として、探究活動をより発展させていきます。

理数科は大学や研究機関との連携による様々な活動などが行われており、高度で奥の深い学習ができます。課題研究では、様々な場面でポスター発表や口頭発表が行われます。さらにその成果は姉妹校である国立台湾師範大学附属高級中学において、全員が英語で発表するとともに、優秀な研究は各種学会で発表を行うことができます。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

主な行事として、4月に新入生成援歌唱指導、5月に生徒総会、三高探究の日、6月に芸術鑑賞、7月に前期体育大会、南三陸フィールドワーク、8月につくば研修、白神フィールドワーク、9月に三高祭、10月に栗駒フィールドワーク、校外研修(1年生)、後期体育大会、11月にイノベーションフェスタ、12月に修学旅行(2年生)、生徒総会などがあります。

生徒会は、代議員会、執行部、監査委員会、会計がそれぞれの権限を持ちながら協力し合って活動しています。生徒会行事はこの生徒会役員を中心に、生徒の手によって行われます。

部活動は、活発に行われています。17の運動部と14の文化部があります。文武の両立を図るため19時完全下校となっていますが、運動部・文化部とも短い時間の中で内容の濃い練習を行っています。令和5年度は、弓道部、放送部、男子テニス部が全国大会に出場し、陸上競技部、ソフト

テニス部、剣道部、水泳部、吹奏楽部、将棋部が県大会で優秀な成績を収め、東北大会へ出場しています。また自然科学部が世界大会に出場し、研究発表で優秀な成績を収め日本内外から高い評価を受けています。他の運動部、文化部も県大会レベルで多くの部が上位入賞を果たしています。

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

| 進路 | R5 | R4 | R3 |
|-------|-----|-----|-----|
| 国公立大学 | 211 | 203 | 213 |
| 国公立短大 | 0 | 0 | 0 |
| 私立大学 | 70 | 59 | 66 |
| 私立短大 | 0 | 0 | 0 |
| 国立大学校 | 0 | 1 | 1 |
| 専各学校 | 0 | 2 | 0 |
| 就職 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 35 | 51 | 38 |
| 卒業生計 | 316 | 316 | 318 |

主な進路先(令和6年3月卒業生)、

()内は人数 (1)は省略。

<国公立大学>

東北大学(37)、宮城教育大学(8)、北海道大学(5)、北見工業大学、室蘭工業大学、弘前大学(4)、岩手大学(18)、秋田大学(4)、山形大学(38)、福島大学(3)、茨城大学(3)、宇都宮大学(12)、埼玉大学(10)、千葉大学(3)、電気通信大学(6)、東京外国語大学(2)、東京海洋大学、東京学芸大学(4)、東京工業大学、東京農工大学(4)、横浜国立大学(4)、新潟大学(9)、金沢大学(3)、信州大学、京都大学、京都工芸繊維大学、神戸大学、広島大学、九州大学、熊本大学、琉球大学、岩手県立大学、宮城大学(9)、福島県立大学、会津大学、高崎経済大学(5)、東京都立大学(6)、横浜国立大学

<私立大学>

東北学院大学(9)、東北医科薬科大学、東北芸術工科大学(2)、青山学院大学、桜美林大学、岡山理科大学、学習院大学、北里大学(3)、杏林大学、國學院大学、慶應義塾大学、芝浦工業大学、順天堂大学、白百合女子大学、千葉工業大学、中央大学(4)、帝京大学(2)、東海大学、東京電機大学、東京都市大学、東京農業大学、東京理科大学(5)、同志社大学、東洋大学(2)、日本大学(3)、法政大学(9)、武蔵野美術大学、明治大学(4)、明治学院大学、立教大学、早稲田大学(3) 海外の大学(2)

3 学校魅力発信

(1) 本校生徒の活躍

インターハイ・全国大会への抱負！

ひとりひとりが全力で闘い抜いた県総体、三高生大活躍！！ フェンシング部、テニス部インターハイへ、陸上競技部、フェンシング部、柔道部、ラグビー部、ソフトテニス部、水泳部 東北大会へ、放送部が全国大会へ出場！（令和5年度学校だよりから）

◎インターハイに向けて（令和5年6月時点）

テニス部 城義弥（3年 富沢中）

私はインターハイに出場する。ずっと目標にしていた舞台だ。中学生の頃、インターハイを実際に見たときから目標だった。そんな舞台ではあるが、出場するだけで終わりたいわけではない。インターハイで結果を残し、これまで支えてくれた周りの人たちへ少しでも恩返しになるように全力を尽くしていきたいと思う。そのためにも残り約1ヶ月間の練習に、全力で取り組んでいきたい。

フェンシング部 住井俊輔（3年 富沢中）

8月4日に北海道室蘭市にて行われる全国高等学校フェンシング選手権大会個人対抗サーブルに出場することになりました。3種類あるフェンシングの種目の中でも、サーブルは特に純粋な実力勝負の面が大きいと言われています。これを好意的に解釈するならば、積み重ねてきた努力や練習は裏切らない、ということでしょう。私はまだまだ実力不足だと認識していますが、先述の言葉を信じて、残り約1ヶ月間これまで以上に集中して練習に取り組み、悔いのないインターハイにしたいと思っています。

◎全国大会に出場して

放送部 安達優月（3年 田子中）

私たちは7月に行われるNHK杯全国高校放送コンテストに番組4部門と朗読1名で参加します。そして8月に行われる全国総文祭ではビデオメッセージ部門で参加してきます。取材に応じてくださった方々への感謝の気持ちを忘れずに、参加する部員全員にとって意味のある大会にしたいと思っています。



(2) 仙台三高の学校行事

三高探究の日 ～研究成果を堂々と発表～

本校の探究活動の成果を発表する「三高探究の日」が行われました。3年生は口頭・ポスター発表、2年生は3分間でこれから本格的に進める探究活動のテーマ発表を行い、新1年生は今後の探究活動に向けて、大いに刺激を受ける良い機会となりました。また自然科学部生物班、化学班、地学班が国内外の研究発表会で受賞した研究の発表も行われました。さらにチョンリョル女子高校とオンラインでの英語による相互発表も行いました。東北大学工学部の安藤晃先生や宮城教育大学名誉教授の見上一幸先生をはじめ、多くのご指導、ご助言をいただき非常に実りある研究発表となりました。



三高スポーツフェスティバル

仙台三高の体育祭は、前期の球技大会、後期に陸上競技で開催されます。思い思いに作成したクラスTシャツを着用した三高生。クラスや学年の絆が深まる行事です。令和5年度は3年2組が年間総合優勝を勝ち取りました。

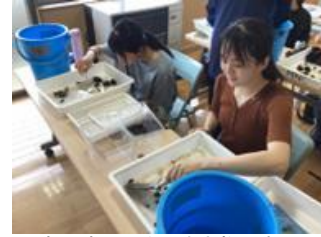


三高の夏！科学を体験・体感！！

8月、三高生は夏休み中も三高生は学び続けます！学校を飛び出し、科学の「現場」でフィールドワークを実施します。南三陸・つくば市・白神山地を舞台に体験活動や研究機関見学を通して、理数系領域の知見を深めます。いずれも実際に見て・聴いて・触って、学びを体感することで、参加した生徒にとっては、科学に対するさらなる意欲を得られる、刺激的な経験です。



白神FW



南三陸・干潟の生き物調査

◎SSつくば研修に参加して

平山 桜花さん（2年 向洋中）

つくば研修では、様々な研究施設を見学し、貴重なものを間近で見えました。私が一番印象に残っている KEK では、高エネルギー加速器や、宇宙線について学びました。さらに、筑波大学の学生と交流し、進路や学習についてのアドバイスをいただきました。とても学びの多い充実した時間を過ごすことができたので、この経験を今後活かしていきたいです

三高祭 ～コロナ禍でも三高らしく！～

令和5年度の文化祭テーマは「シン・三高祭」でした。来場制限もなく食品販売も可となりましたが、コロナ禍前の三高祭を知る生徒は誰もいません。しかし、文化祭実行委員会を中心に熱意溢れる生徒たちの創意工夫によって、温かく活気のある新たな三高祭を創ることができました。令和6年度は8月30日と31日（一般公開は31日）に開催予定です。



時習の森 ～三高 尚志ヶ丘フィールド！～

三高では、周辺地域を尚志ヶ丘フィールドと呼び、地域教育に活用しています。特に三高には「時習の森」と呼ぶ学校林があります。理科や社会科を中心に普通の授業から活用している演習林です。



4 在校生（生徒会）からのメッセージ

○生徒会長 森田侑祐さん(館中 ラグビー部)より

『仙台三高は文武両道を掲げ、多くの生徒が日々勉強と部活の両立に励んでいます。運動部・文化部ともに多くの部活が全国大会等に出場し、輝かしい功績を残しています。先生方の献身的なサポートのもと、それぞれが自分のやりたい事に集中出来る素晴らしい環境です。』

○生徒会役員 新野愛依さん(幸町中 女子バドミントン部)より

仙台三高は SSH に指定され、最先端の技術や知識に触れる機会が多くあります。生徒は外部と提携した課題研究や探究活動に主体的に取り組み、社会貢献を目指しています。また、ボストン海外研修など（私も参加しました）のグローバルな活動に参加するチャンスも多くあります。志高い皆さんと、仙台三高と一緒に学べる日が来ることを楽しみにしています！』